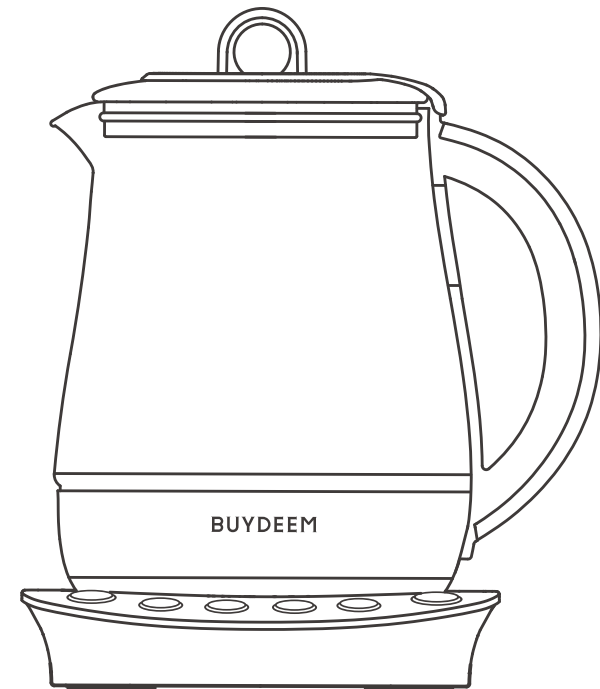


BUYDEEM



K2562

薬膳マルチポット取扱説明書・保証書

Distributed by
EX
entrex inc.

CONTENTS

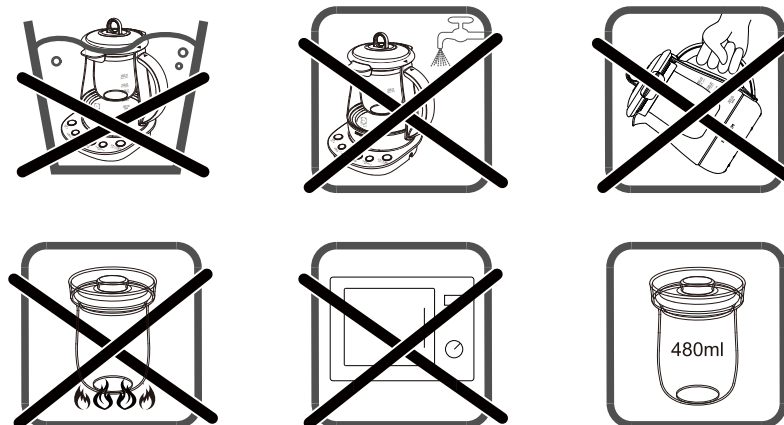
注意事項	2
製品仕様	3
商品紹介	4
各部の名称	4
ボタン機能の紹介	5
ティーフィルターについて	6
インナーポットについて	7
使用方法	8
使用前の準備・設置方法	8
基本的な使い方	9
機能モード	11
沸とう	11
10分（煮込み・煮出し）	12
30分（煮込み・煮出し）	13
90分（煮込み・煮出し）	14
保温（70℃/2時間）	15
便利な機能	16
沸点検査	16
沸点設定の初期化	18
一時停止・プロセス切り替え	19
クリーニング及びメンテナンス	20
簡単なトラブルシューティング	21
保証書	22

弊社の製品をご購入いただき、ありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。
読み終わった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

注意事項

⚠ 危険

- ・電気ポット、電源プレート、及びプラグを水や他の液体の中に入れて、かけたりしないでください。
- ・インナーポットを付けたまま、電気ポットの中身を注がないでください。
- ・インナーポットを直接火にかけて加熱しないでください。
- ・インナーポットをオープンに入れたり、電子レンジで加熱しないでください。
- ・インナーポットの有効最大容量は480ml（約7割を目安）です。最大容量を超えて使用しないで下さい。食材が溢れて火傷になる恐れがあります。



⚠ 警告

- ・本製品は一般家庭及び屋内専用です。業務用又は一般家庭以外での使用や、取扱説明書の指示に反する使用について、弊社は一切の製造責任と保証の責任を負いかねます。
- ・製品ラベルに表示された電圧に合わせたコンセントを使用してください。
- ・製品は平らな安定した場所に置いて使用してください。
- ・ぬれた手で電源プラグの抜き差しや、製品の使用をしないでください。
- ・注ぐ際は蓋をおさえながら注いでください。蓋が外れて火傷をする恐れがあります。

▲ 注意

- ・電気ポットや電源プレートを高温な場所に放置したり、火の元付近で使用したりしないでください。
- ・電気ポットが正常に稼働しない場合は、直ちに電源プラグを抜いてください。
- ・電源コードを引っ張って電源プラグを抜かないでください。
- ・電気ポットの落下を防ぐため、電線コードをテーブルなどの端より外側に垂らさないでください。
- ・ガラスの破裂を防ぐため、ご使用の際には、ガラスポット本体やインナーポットを硬い物に直接衝突させないようにご注意ください。
- ・稼働中の電気ポットは表面温度が高くなります。ガラス部分、ストッパーの金属部分、インナーポットに触れないでください。火傷の恐れがあります。
- ・電気ポットの使用中に蓋を開けたり、移動したりしないでください。火傷になる恐れがあります。
- ・電気ポットは防湿、凍結を防ぐ必要があります。
- ・電気ポットを冷蔵庫に入れないでください。
- ・電気ポットを使用していない時やクリーニングする時は、電源プラグを抜いてください。
- ・長時間電気ポットを使用されない場合は、電気ポット内の水を捨て、空の状態にしてください。
- ・推奨方法以外の方法で水垢を除去しないでください。推奨方法の詳細はP20をご参照ください。
- ・本製品はお身体が不自由な方や知的障がいを持つ方（お子様を含む）、または経験や知識が乏しい方のご使用に適しておりません。安全管理のため、監督者や指導者がいる場合のみご使用ください。お子様に遊ばせたりしないでください。
- ・水や食材を入れる際に、MAX水位表示を上回ったり、MIN水位表示を下回ったりしないでください。電気ポットに過度の水や食材を入れた場合は、沸とう時に中身が飛び散り、火傷になる恐れがあります。
- ・本製品は必ずセットとなっている既定の電源プレートをご使用ください。他の電源プレートは使用しないでください。
- ・電源コードや電源プラグが破損した場合は、危険を避けるため、電気ポットのご使用を中止し、アントレックスお客様サポートセンターへお問い合わせください。
- ・ご購入いただいた製品が既に破損し正常に使用できない場合は、継続使用をお避けください。また、ご自身で分解せずに、アントレックスお客様サポートセンターへお問い合わせください。
- ・本取扱説明書に従いクリーニングや水垢の除去を行ってください。通常行わないその他全て操作は必ずアントレックスお客様サポートセンターへお問い合わせください。
- ・メーカーは生産上の欠陥や家庭使用に対してのみ保証を行い、取扱説明書と異なる操作が原因での損傷は保証範囲に含まれません。
- ・電気ポットの水垢の除去を実施しなかったことが原因で、製品が正常に使用できないまたは完全に使用不可な場合は、保証範囲に含まれません。
- ・全ての製品は、ランダムサンプリングによる実用テスト（耐久度と高温消毒の自動テスト）を含む厳密な品質管理プロセスを経ているため、微かな使用痕跡が残ることもありますが、正常な状態の新品です。

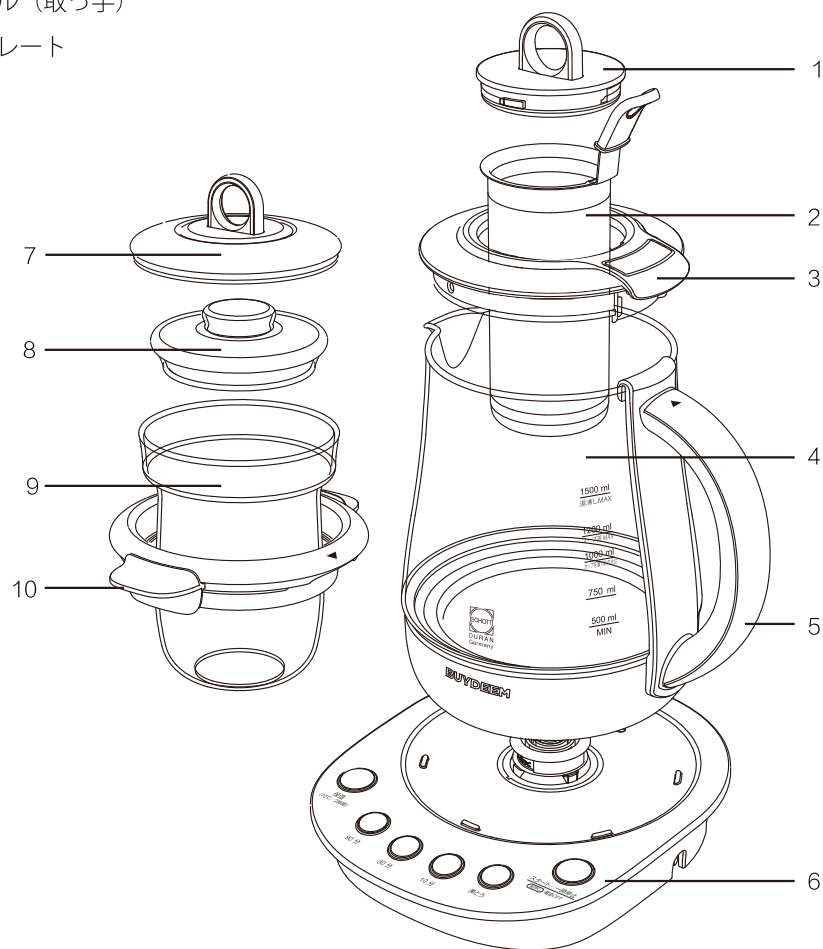
製品仕様

製品名:薬膳マルチポット
 製品型番:K2562
 準拠基準:GB4706.1-2005/GB4706.19-2008
 最大容量:1.5L
 製品電力:830W
 定格電圧:100V 50/60Hz

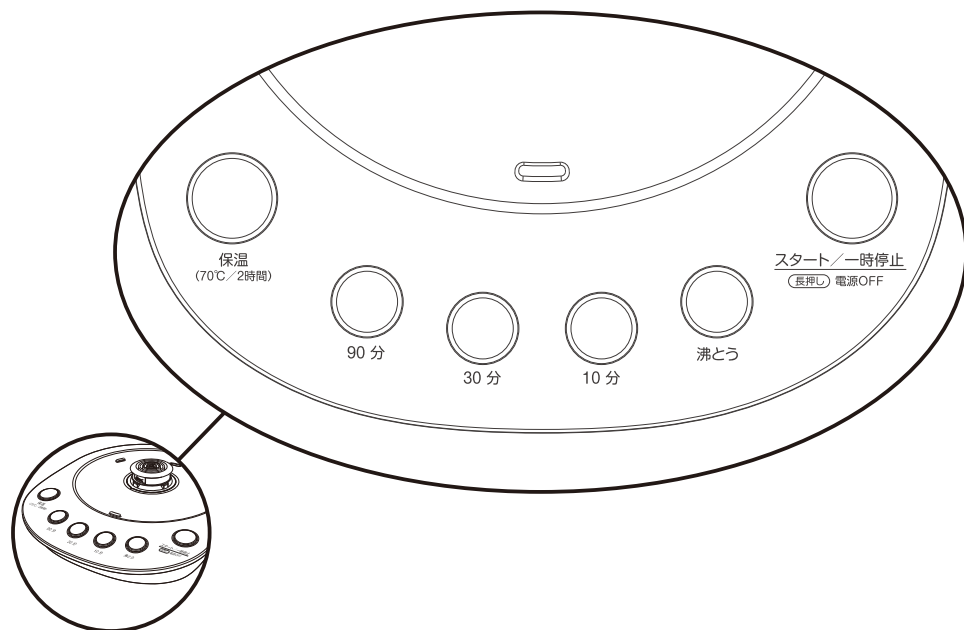
本製品は、食品接触用SUS304及びSUS316Lステンレス鋼を使用しています

各部の名称

- 1: 外蓋
- 2: ティーフィルター
- 3: ストッパー
- 4: 電気ポット (本体)
- 5: ハンドル (取っ手)
- 6: 電源プレート
- 7: 外蓋 (インナーポット)
- 8: 中蓋 (インナーポット)
- 9: インナーポット
- 10: ストッパー (インナーポット)



ボタン機能紹介



保温 (70°C/2時間)

本ボタンとスタートボタンを押すと、電気ポットは保温状態に入り、温度は70℃に保たれます。2時間後に自動停止し、待機状態に入ります。

90分

本ボタンとスタートボタンを押すと、電気ポット内の水を沸とうさせ、90分間煮込み・煮出したのちに停止し、待機状態に入ります。

30分

本ボタンとスタートボタンを押すと、電気ポット内の水を沸とうさせ、30分間煮込み・煮出したのちに停止し、待機状態に入ります。

10分

本ボタンとスタートボタンを押すと、電気ポット内の水を沸とうさせ、10分間煮込み・煮出したのちに停止し、待機状態に入ります。

沸とう

本ボタンとスタートボタンを押すと、電気ポット内の水を100℃まで高速沸とうさせたのちに自動停止し、待機状態に入ります。なお、本機能で水以外のスープ/液体を沸かすことをしないようご注意ください。中身があふれる恐れがあります。

スタート/一時停止 (長押しで電源OFF)

このボタンの点灯時は稼働中、点滅時は一時停止を表しています。電気ポットが稼働している間に押すと、ボタンが点滅し、一時停止します。再度このボタンを押すと、ボタンが点灯し再び稼働します。設定済みの機能の取り消しや電源を切る場合は、約2秒間長押ししてください。ボタンが消灯し、電気ポットは稼働を停止し待機状態に入ります。電気ポットの稼働中に、他の機能へ切り替えたい場合は、このボタンを一度押したのちに、他の機能を選択してください。

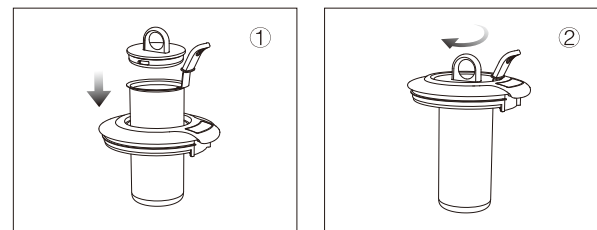
ティーフィルターについて

二重蓋のデザイン

本製品はユーザーの日々の使用の習慣を参考に、相互に取り付け取り外しができる「二重蓋」のオリジナルデザインを設計しました。電気ポットの稼働中に、外蓋を開ければ、食材の調理状況の確認や食材・調味料の追加などができます。調理の際に多くの泡が発生する場合には、外蓋を開けることで、吹きこぼれの防止につながります。

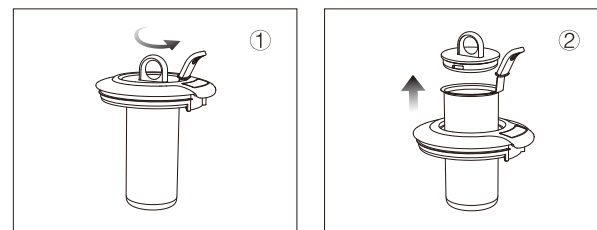
1. ティーフィルターの取り付け

- ① ティーフィルターの取っ手を持ち、ストッパーの中心部分に差し込みます。
- ② 外蓋を時計回りに、「カチッ」と鳴るまでしっかりと閉めます。



2. ティーフィルターの取り外し

- ① 外蓋を反時計回りに回します。
- ② ティーフィルターの取っ手を持ち、取り外します。



インナーポットについて

インナーポットのデザイン

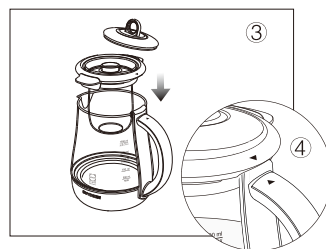
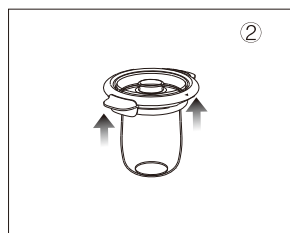
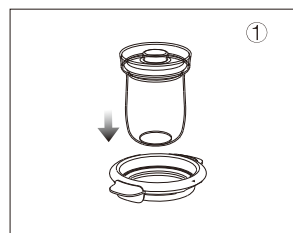
本製品は、様々なニーズに合わせ、オリジナルデザインのインナーポットを追加しております。インナーポットを使用し、同時に調理することもでき、ガラス素材のため調理状況の確認も簡単です。

! 注意：インナーポットを取り付けている状態で、電気ポットの中身を注ぐ行為はお避け下さい。インナーポット及びストッパーが落下し、火傷になる恐れがあります。



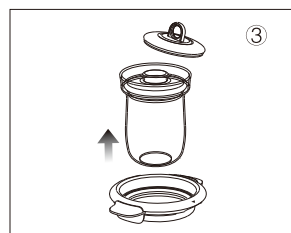
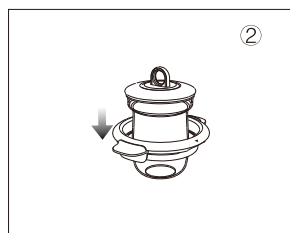
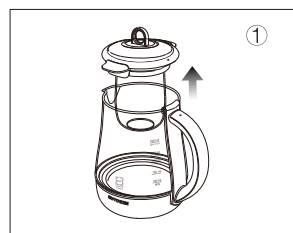
1. インナーポットの取り付け

- ①インナーポットをストッパーの上に置きます。
- ②ストッパーとインナーポットを一緒に持ち上げます。
- ③電気ポットに設置し、外ぶた[7]で閉じます。
- ④ストッパーにある三角印(▲)を電気ポット本体の取っ手にある三角印(▲)に合わせれば、取り付けが完了です。



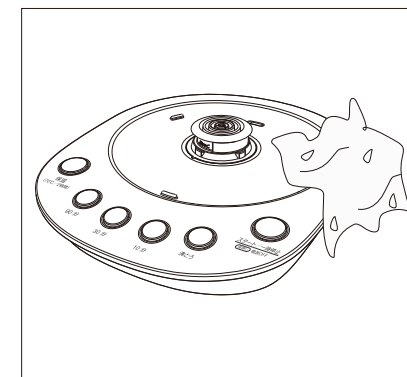
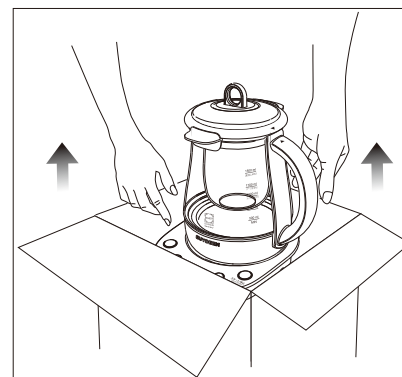
2. インナーポットの取り外し

- ①ストッパーとインナーポットを一緒に持ち上げます。
- ②ストッパーをゆっくり下げます。
- ③外蓋を外し、インナーポットを取り出します。

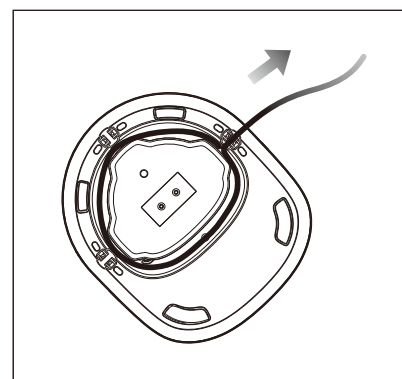


使用前の準備

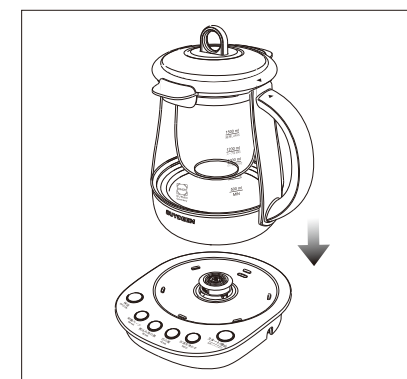
- ①本製品に同梱されている包装・ラベル及び付属品を全て取り出します。初めてのご使用前に、沸点検査の実施を推奨しております。(詳細はP.16 をご参照ください)
- ②クリーニングのため、最初の2~3回は水を沸とうさせ、そのままお捨て下さい。また、電源プレートの外側を固く絞った布で拭いてください。



設置方法



①ベース裏の電源コードをお好みの長さに調整し、セットしてください。



②電気ポット本体を電源プレートの上に設置してください。

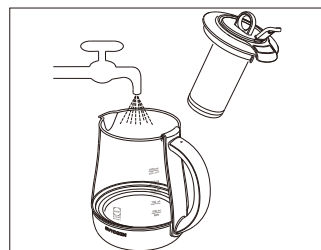
基本的な使い方



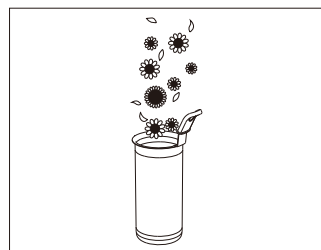
1. **ストッパーを外す**
 ガラスポットの取っ手をしっかり握り、ストッパーを持ち上げると(外蓋部分含めて)ストッパーを取り外すことができます。



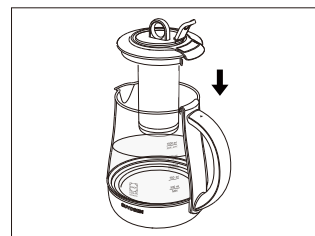
2. **食材を入れる**
 食材を直接電気ポットの中に入れます。



3. **適量の水を加える**
- ・電気ポットを電源プレートに載せたまま、水を加えないでください。
 - ・MAX水位表示を上回ったり、MIN水位表示を下回ったりしないでください。
 - ・過度の水を入れた場合は、沸とう時に中身が飛び散る恐れがあります。
 - ・食材によっては、泡立ちやすいため、ご注意ください。その場合は水量を1000mlの水位表示までに抑えることを推奨しています。



4. **細かい食材を入れる**
- ・細かく砕いた食材(例:茶葉など)を使用する場合は、ティーフィルターのご使用を推奨しております。
 - ・細かく砕いた食材をティーフィルターに入れ、P6の手順に従って設置してください。

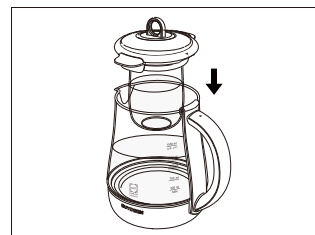


5. **ストッパーを閉める**
 図のようにストッパーを電気ポットにセットし、軽く押し下し、しっかりと閉まります。手で軽く持ち上げた際に、外れなければ、正しく閉まっています。しっかりと閉まっていない場合は、中身を注ぐ際に外れて落下する恐れがあります。

【注意】ストッパーを閉める際に、ティーフィルターの取っ手が電気ポット本体の取っ手に揃っているかご確認ください。揃っていない場合は完全に閉っていない状態です。

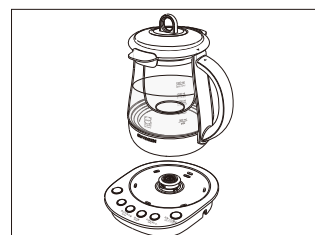
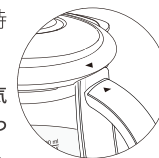


6. **インナーポットの設置**
 食材をインナーポットに入れ、適量の水を加え、P7の手順に従いインナーポットを設置してください。

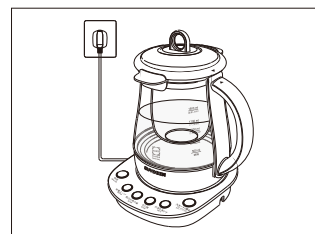


7. **インナーポットの取り付け**
 ストッパーとインナーポットを一緒に持ち上げ、電気ポットに設置します。

【注意】ストッパーにある三角印(▲)が電気ポット本体の取っ手にある三角印(▲)に揃っていることを確認してください。揃っていれば、取り付けは完了です。

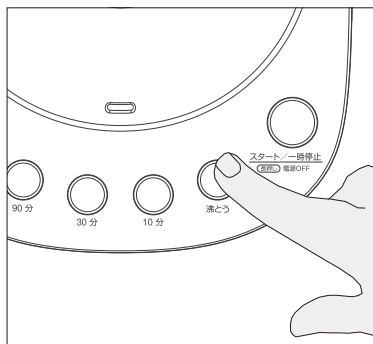


8. **電気ポットを電源プレートの上に置く**
- ・電気ポットの裏や電源プレートを濡らしたままの状態でご使用しないでください。
 - ・電源プレートは平らで清潔な場所でご使用ください。
 - ・必ず既定の電源プレートをご使用ください。
 - ・電気ポットの中が空のままでの使用はしないでください。



9. **コンセントに電源プラグを差す**
 電気ポットに電気が通ると、「ピー」という音が鳴り、ボタンが点滅したのちに消灯します。そのまま待機状態に入り、ご使用できる状態になります。

沸とう



本電気ポットは、二種類の操作方法で沸とうモードが動作します。

①「沸とう」ボタンを押し、「スタート/一時停止」ボタンを押す。

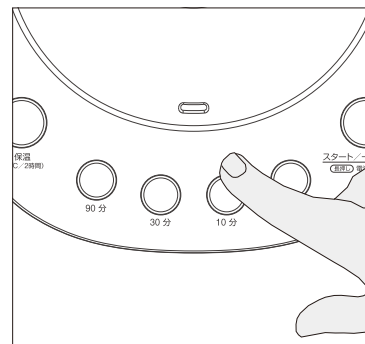
【参考】「沸とう」ボタンを押すとボタンが点灯し、「スタート/一時停止」ボタンが点滅します。この時、「スタート/一時停止」ボタンを押すとボタンが点灯し、沸とうモードが動作します。

②「スタート/一時停止」ボタンを押し、「沸とう」ボタンを押す。

【参考】「スタート/一時停止」ボタンを押すとボタンが点灯します。その他の全ての機能のボタンは一度点滅のちに消灯します(全て選択可能)。この時、「沸とう」ボタンを押すとボタンが点灯し、沸とうモードが動作します。

沸とうモードでは、電気ポット内の水を100℃まで加熱します。完了すると、「ピー」という音になって電源が切れます。

10分 (煮込み・煮出し)



本電気ポットは、二種類の操作方法で煮込み・煮出しモードが動作します。

①「10分」ボタンを押し、「スタート/一時停止」ボタンを押す。

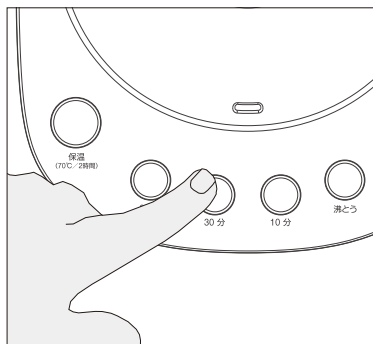
【参考】「10分」ボタンを押すとボタンが点灯し、「スタート/一時停止」ボタンが点滅します。この時、「スタート/一時停止」ボタンを押すとボタンが点灯し、煮込み・煮出しモードが動作します。

②「スタート/一時停止」ボタンを押し、「10分」ボタンを押す。

【参考】「スタート/一時停止」ボタンを押すとボタンが点灯します。その他の全ての機能のボタンは一度点滅のちに消灯します(全て選択可能)。この時、「10分」ボタンを押すとボタンが点灯し、煮込み・煮出しモードが動作します。

煮込み・煮出しモードでは、まず沸とう状態になるまで加熱します。その後、10分間の、煮出し・煮込みが始まります。完了後に、「ピー」という音になり、電源が切れます。

30分（煮込み・煮出し）



本電気ポットは、二種類の操作方法で煮込み・煮出しモードが動作します。

①「30分」ボタンを押し、「スタート／一時停止」ボタンを押す。

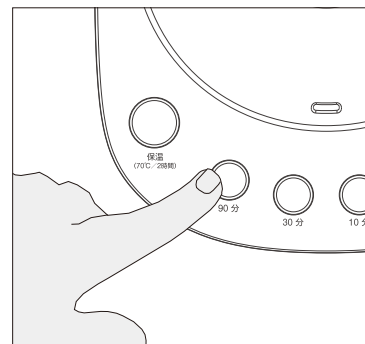
【参考】「30分」ボタンを押すとボタンが点灯し、「スタート／一時停止」ボタンが点滅します。この時、「スタート／一時停止」ボタンを押すとボタンが点灯し、煮込み・煮出しモードが動作します。

②「スタート／一時停止」ボタンを押し、「30分」ボタンを押す。

【参考】「スタート／一時停止」ボタンを押すとボタンが点灯します。その他の全ての機能のボタンは一度点滅のちに消灯します（全て選択可能）。この時、「30分」ボタンを押すとボタンが点灯し、煮込み・煮出しモードが動作します。

煮込み・煮出しモードでは、まず沸とう状態になるまで加熱します。その後、30分間の、煮出し・煮込みが始まります。完了すると、「ピー」という音になって電源が切れます。

90分（煮込み・煮出し）



本電気ポットは、二種類の操作方法で煮込み・煮出しモードが動作します。

①「90分」ボタンを押し、「スタート／一時停止」ボタンを押す。

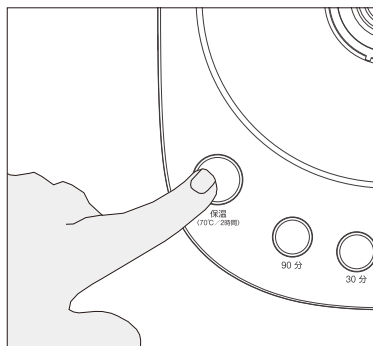
【参考】「90分」ボタンを押すとボタンが点灯し、「スタート／一時停止」ボタンが点滅します。この時、「スタート／一時停止」ボタンを押すとボタンが点灯し、煮込み・煮出しモードが動作します。

②「スタート／一時停止」ボタンを押し、「90分」ボタンを押す。

【参考】「スタート／一時停止」ボタンを押すとボタンが点灯します。その他の全ての機能のボタンは一度点滅のちに消灯します（全て選択可能）。この時、「90分」ボタンを押すとボタンが点灯し、煮込み・煮出しモードが動作します。

煮込み・煮出しモードでは、まず沸とう状態になるまで加熱します。その後、90分間の、煮出し・煮込みが始まります。完了すると、「ピー」という音になって電源が切れます。

保温 (70℃/2時間)



本電気ポットは、二種類の操作方法で保温モードが動作します。

①「保温」ボタンを押し、「スタート/一時停止」ボタンを押す。

【参考】「保温」ボタンを押すとボタンが点灯し、「スタート/一時停止」ボタンが点滅します。この時、「スタート/一時停止」ボタンを押すとボタンが点灯し、70℃/2時間の保温モードになります。

②「スタート/一時停止」ボタンを押し、「保温」ボタンを押す。

【参考】「スタート/一時停止」ボタンを押すとボタンが点灯します。その他の全ての機能のボタンは一度点滅のちに消灯します(全て選択可能)。この時、「保温」ボタンを押すとボタンが点灯し、70℃/2時間の保温モードになります。

保温モードでは水温が70℃に保たれます。2時間後、「ピー」という音になって電源が切れます。

沸点検査

海拔が高い地域では、水が沸とうする際に100℃に達しないため、電気ポットが正常に稼働しない可能性があります。(各プロセスの時間が不均一になり、正常な状態で稼働しない恐れがあります)。

お客様に良好な使用感をご提供するため、電気ポットにはメモリチップが内蔵されています。海拔が高い地域でも正常にご使用いただくため、一度沸点検査を実施することを推奨しております。(特に、海拔250mより高い地域にお住まいの場合は、沸点検査を実施したのちに使用することを推奨しております。)

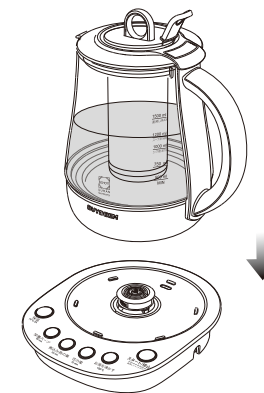
沸点検査は、平地にも適用できます。沸点検査後、電気ポットはより正確に稼働します(性能は初期設定より良くなります)。初めてご使用になる前に、一度沸点検査の実施を推奨しております。検査完了後、メモリチップには正確な沸点データが記録されますため、繰り返しテストをする必要はありません。

沸点検査の実施

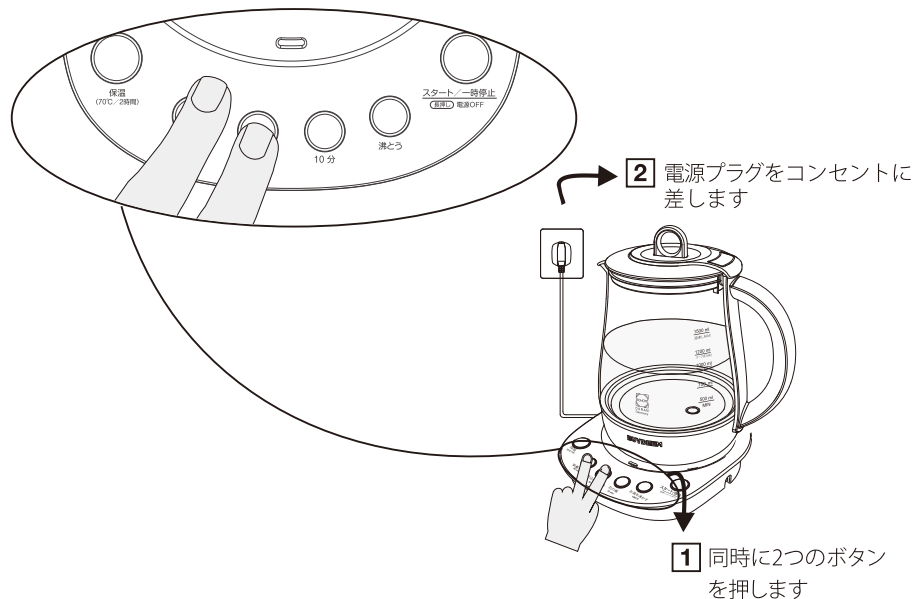
①電気ポットに1200mlの水を入れます。水の過剰や不足は検査結果に影響しますのでご注意ください。



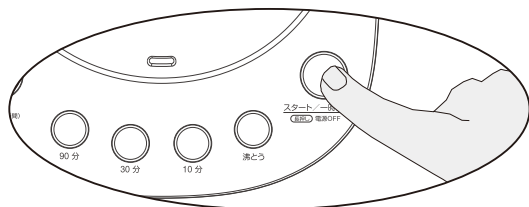
②電気ポットを電源プレートの上に設置します。まだ電源プラグをコンセントにつなげないでください。



- ③「90分」ボタンと「30分」ボタンを同時に押しながら、電源プラグをコンセントにつなげます。短い「ピッ」という音が聞こえたら、指を離してください。



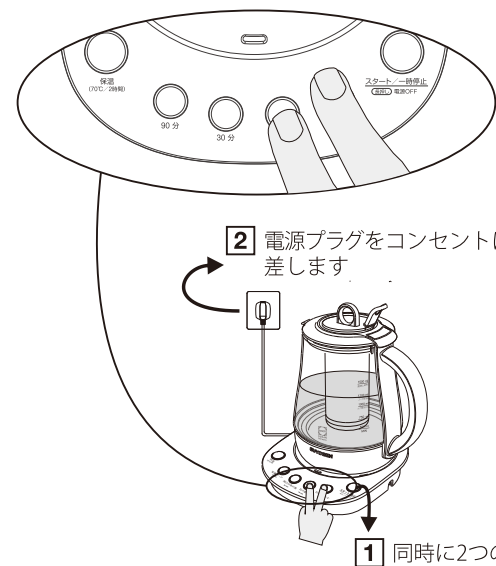
- ④「スタート／一時停止」ボタンが点滅していることを確認し、「スタート／一時停止」を押します。



- ⑤沸点検査状態になると「保温」、「90分」、「30分」、「10分」、「沸とう」ボタンが順番に点滅します。
⑥沸点検査が終了すると長い「ピー」という音が3回鳴り、待機状態に入ります。

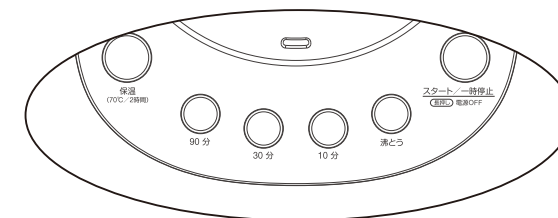
沸点設定の初期化

沸点検査を完了させた後に、初期設定に戻りたい場合は、以下の手順通りに操作してください。



- ①「10分」ボタンと「沸とう」ボタンを同時に押しながら、電源プラグをコンセントにつなげます。短い「ピッ」という音が聞こえたら、指を離してください。

- ②初期化が開始されると、「保温」、「90分」、「30分」、「10分」、「沸とう」ボタンが順番に点滅します。



- ③初期化が完了すると長い「ピー」という音が3回鳴り、待機状態に入ります。

一時停止機能

本電気ポットが各機能に従い稼働している際に、「スタート／一時停止」ボタンを押すと作業を一時停止することができます。一時停止後1時間以内に再度「スタート／一時停止」ボタンを押すと未完成の残り時間分の作業から再開します。最初から同じプロセスをやり直すことはありません。

電気ポットの持ち上げによる一時停止

本電気ポットが各機能に従い稼働している際に、電気ポットを持ち上げることで一時停止させることができます。一時停止後1時間以内に再度電気ポットを電源プレートに置くと、電気ポットは未完成の残り時間分の作業から再開します。最初から同じプロセスをやり直すことはありません。

プロセス切替機能

本電気ポットは機能選択後に、1分以内であれば任意にモードを切り替えることができます。また既に選択した機能のボタンを再度押すことで作業の取り消しができます。電気ポットはそのまま待機状態に入ります。誤操作を避けるため、作業開始1分後の操作により、機能を切り替えることができません。もし機能を変更したい場合は、まず「スタート／一時停止」ボタンを押し、「スタート／一時停止」ボタンが点滅をしたら、再度切替先の機能を選択してください。

クリーニング及びメンテナンス

電気ポットのクリーニング

- ①電源プラグを抜きます。
- ②【ティーフィルターを使用した場合】電気ポットが冷めたのち、ティーフィルターの外蓋を開け、ティーフィルターを取り出します。ティーフィルターの中身を捨て、濡れたスポンジでティーフィルターと電気ポットの内部を掃除します。
- ③【ティーフィルターを使用しなかった場合】電気ポットが冷めたのち、濡れたスポンジで電気ポットの内部を掃除します。
【注意】電気ポット、電源プレート、電源コード、電源プラグを水に浸さないでください（電気ポットの底面や電源プレート上の電気接合部を水に接触させないでください）。
- ④電気ポットの安全と清潔さを保つため、使用後に都度、中性洗剤でクリーニングを行ってください。

水垢を取り除く

本電気ポットは定期的（少なくとも月あたり1度）に水垢の除去する必要があります。水質がよくない場合は回数を増やしてください。

発熱板に生じる斑点（シミ）が水垢であり、正常の現象です。清潔なスポンジで軽く拭き取ればきれいになります。状況がひどい場合は、以下の方法で水垢の除去を行ってください。

電気ポット内の水垢を取り除くヒント

【酢の使用】

- 電気ポットに適量の酢を入れてください。
- 加熱をしない状態で1時間放置します。
- 電気ポット内の酢を捨てた後、水で十分にすすぎます。（5-6回目安）

【クエン酸の使用】

- 適量の水を入れて沸とうさせます。
- クエン酸（25g程度）を入れ、15分程放置します。
- 電気ポット内の水とクエン酸を捨て、水で十分にすすぎます。（5-6回目安）

軽度の故障の解消法

電気ポットを電源プレートに置いた際に、音がならず、ボタンも点灯しない場合

- ・電気ポットがしっかり電源プレートに接続されているかをチェックしてください。
- ・電源プラグがしっかりコンセントに接続されているかをチェックしてください。

効果音は鳴るが、ボタンが点灯しない場合

水の入れ忘れや電気ポット内の水垢により、電気ポットが熱くなり、安全システムが作動している可能性があります。電気ポットに水を入れるなどして冷ましてから、電源を入れ直してください。

効果音が鳴り続き、作動しない場合

電気ポット（本体）底面が水で濡れている可能性があります。洗浄後、水滴が残っている場合には乾いた布またはキッチンペーパー等で水気を拭きとり、電源を入れる前にしばらく乾かしてください。もし大量の水が内部に入ってしまった場合にはご自身で分解せず、保証書に記載のお客様サポートセンターまでご連絡ください。

水にプラスチックの味がする場合

未使用の電気ポットに発生することがあります。水を2～3回沸とうさせ、捨ててください。状況が改善しない場合は、MAX水位表示まで水を注ぎ、小さじ二杯の重曹を加え、沸とうさせたのちに中身を捨てて、きれいに洗ってください。

保証書

商品名	K2562 葉膳マルチポット		
お買い上げ年月日	年	月	日
この商品の無料保証期間は、お買い上げ後1年です。			
販売店名			
(印)			

保証規定

保証期間内に正常な使用状態で故障した場合、無償修理いたします。お買い上げの販売店に商品と本書をご持参、ご提示ください。

- ※保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
- ・ご使用の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ・火災または天災による故障、損傷
 - ・本書のご提示がない場合 ・落下等による故障及び損傷

修理過程で取り外した部品は、リサイクルや分析などのために当社の判断で回収する場合があります。回収した部品の所有権は、当社に帰属するものとし廃棄させていただきますので予めご了承ください。

(株)アントレックス 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-19-1 (www.entrex.co.jp)

販売店名、同印、日付の記入のないものは無効です。本書は日本国内のみ有効です。

本取扱説明書の内容や本製品をお使いの上でご不明な点などがございましたら、お買い求めの販売店または下記のサポートセンターまでお問い合わせください。

(株)アントレックス お客様サポートセンター
E-mail support@entrex.co.jp

〒300-4102 茨城県土浦市本郷原山20番27